

体育の学習での服装の共通理解について

冬休み号の学校便りにも掲載しましたが、体育の学習での服装の詳細について、下記のことを全学級の子どもたちに指導しました。保護者の皆様にもご理解いただき、ご家庭でお子さんと相談して寒さ対策等ができるようご協力をお願いします。（体育で使用する長袖やレギンス、手袋などは、記名をして体育着袋に入れていただけるとありがたいです。）

【柏小学校の子どもたちに伝えた内容】

寒い時期の体育の服装について、先生たちで話し合いました。そこで、これからは全学級、次のようにしたいと思います。1年生から6年生、すべて同じです。

- (1) 寒い時期には、半袖の体育着の上から長袖（トレーナーなど）を着てよいです。ただ、運動中にけがにならないように、『フード・チャック・ボタン』がついていないものにします。肌着（体育着の下に着るもの）については、運動しやすく、汗の対応（着替え）がしやすいものの方がいいと思います。どのようなものがよいかについては、お家の人と話して決めてください。
- (2) 下半身の寒さ対策をしたい場合には、動きやすいレギンスをはいてよいです。けが等をしたときにすぐに対応できないので、足先までつながっているタイツは禁止とします。ハーフパンツの上にジャージなどの長ズボンをはきたい人もいられるかもしれませんが、チャックやポケットがついているものが多いので、レギンス等で対策をするようにしましょう。どうしても長ズボン（ジャージ）をはきたいときには、お家の人から先生に連絡（電話、連絡帳）をするようにしてください。
- (3) 首を温めるネックウォーマー等は、ひっかかる危険もあるので、体育の時には使用しません。寒い時期には手袋をしてもよいですが、先生の指示（運動の内容によって）があったらすぐに外します。もちろん、記名は必ずしてください。

いろいろと迷うことがあるかもしれませんが、お家の人と話し合っって『安全で・運動しやすい服装』で取り組めるようにしましょう。寒いからといってたくさん着たりはいたりすると、動きづらかったり、汗の対応がすぐにできなかったりしてしまいます。体育の授業は45分しかないので、なるべく身軽に、たくさん運動をして健康な体を作れるようにしていきましょう。

学校のホームページにもこの内容を載せておくので、迷ったらお家の人と見て確認をしてください。